

有田川町議会広報
かわら版

平成20年2月発行

第8号

発行 有田川町議会
住所 和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地4
郵便番号 643-0021
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-2198
<http://www.town.ariake.wakayama.lg.jp/profite/gkaicho.html>



第1回 有田川町観光写真コンテスト 入賞作品
作品名 『祭りの主役』 提供：有田川町観光協会

もくじ

平成19年度補正予算等	2 ~ 3
町長にもの申す(一般質問)	4 ~ 17
議会傍聴記等	18 ~ 19
編集後記等	20

妙見池埋立工事に 町債の繰上償還に

7,195万円 3,016万円

◎補正予算の内訳

(千円未満四捨五入)

項目	補正前の額	補正額	計
一般会計	172億5,217万円	△5,302万円	171億9,915万円
国民健康保険除計	38億3,817万円	1億6,291万円	40億0,108万円
老人保健事業計	42億9,107万円	1,000万円	43億0,107万円
介護保険事業計	20億9,906万円	3,742万円	21億3,648万円
簡易水道事業計	6億4,434万円	△5,476万円	5億8,958万円
農業集落排水計	2億9,360万円	△93万円	2億9,267万円
公営下水道事業計	18億0,584万円	761万円	18億1,345万円
かなや特別会 映計	1億3,405万円	227万円	1億3,632万円
水道事業会計(収益的支出)	3億5,024万円	629万円	3億5,653万円

平成19年第4回定例会は12月10日から21日までの日程で開催されました。本定例会には条例制定、19年度補正予算、工事請負契約などの議案が提出され、それぞれ審議しすべて原案の通り、可決されました。ほか平成18年度各決算認定は承認されました。

環境衛生課長
運計計画は町が作成し、業者に提示した。環境センターへの搬入時間が午後3時までとな

は影響がないのか。
委託料には影響がないのか。
環境衛生課長
運計計画は町が作成し、業者に提示した。環境センターへの搬入時間が午後3時までとな

住民課長
9月の時点で予測がつかず、12月での補正となった。3ヶ月の不足分である。
学校教育課長
新たな制度での特別支援費で3学期から50日間2人の教員を雇う分。単価は6千円。

出張所費や教育委員会の事務局費に補正で臨時雇賃金を計上しているが、本来当初予算に計上するのが筋ではないか。



環境センター(小島地区)

っていたが、環境センターと協議し、午後4時までの1時間延長した。午後4時以降についてもその時点で、環境センターに電話をしておけばもっていきける。またゴミ等を車で収集運搬している業者を集め、交通安全、労働災害など事故防止を徹底するための会議も開催した。事故で一日収集運搬が止まり、職員で対応したので、その一日分は委託料から減らした。

下水道条例の制定—4人家族で 平均約4,000円/月

質疑 町債（政府債）

の繰上償還が3年間でできるようになったと聞かすが、利息分でどのくらい減らせるのか。

企画財政課長 3カ年

全体の償還額は1億4675万9081円でその利子の軽減総額は2322万9千円となる。

質疑 財政運営が大変

な中で町長はじめ執行部の取り組み決意を伺いたい。

町長 若者に住んでい

ただくためにも公共下水道事業が重要だと考えている。みなさんの協力がなければ進まない。

条例関係

◎水力発電施設周辺地域交付金基金条例の制定

◎下水道条例の制定

（基本料金 10㎡まで1260円、1㎡超過ごとに126円）



建設中の公共下水道終末処理場(野田地区)

◎町長等の給与の特例に関する条例の制定

◎職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

◎職員の給与に関する条例の一部を改正

◎今回の改正により人件費は増加すると思

うが、これにより年間の増加する額とこの条例を

今回提出しなければなら

ない理由は何か。

総務課長 全体で12

60万円増加する。人事

院勧告によるもので、国

の予算が通って時期的に

この12月になる。

◎土地開発公社定款の一

部変更

◎有田地方介護認定審査

会の共同設置廃止

◎有田地方障害認定審査

会の共同設置廃止

◎有田周辺広域圏事務組

合規約の改正に関する

協議

人事関係

◎有田川町教育委員会委

員の任命の同意

早田智代氏

◎人権擁護委員候補者の

推薦につき意見を求め

ること

松本博光氏

鈴間眞佐子氏

工事請負契約

◎妙見池埋立工事請負契

約に7195万125

0円

◎一ツ松工区管渠布設工

事(第7工区)の請負

変更契約に6174万

円

意見書の提出

- ◎道路特定財源諸税の暫定税率延長による道路財源確保に関する意見書
- ◎後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書



中山町長



楠木教育長



片畑消防長



山崎企画財政課長

町長にもの申す 一般質問

こんなことが
取り上げられました

登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	楠部重計	<ul style="list-style-type: none"> 町長は、金屋庁舎、清水行政局へも出向いてはどうか 金屋地区公共下水道事業はどうするのか
2	中田正門	<ul style="list-style-type: none"> 立石地区の簡易水道の工事について 観光課の新設について 子どもの体力について 意識改革は役場から発信してはどうか
3	岡省吾	<ul style="list-style-type: none"> 以前、議会で一般質問した件の、その後の進展について 消防施設（消火格納箱）設置について 清水消防署、隊員数の現状は 今春実施された全国学力テストの結果を受けて
4	森本 明	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道事業について 市場バイパス、岩野河バイパスについて 財政計画について
5	佐々木裕哲	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産、文部科学、総務、3省プロジェクトによる「子ども農山漁村交流プロジェクト」への参加、取り組みについて 保田紙による卒業証書への利用は、その後どのように考えているのか
6	前勢 利夫	<ul style="list-style-type: none"> わが町における限界集落の実態と、その対策について 清水地域の小中学校における校舎改修について 中国江西省との友好関係の緊密化について
7	竹本和泰	<ul style="list-style-type: none"> 過疎地域の活性化について
8	増谷 憲	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル問題について 機構改革について 来年度予算編成方針について 山岡部の水道事業について
9	尾上武男	<ul style="list-style-type: none"> 町道及び農林道の橋梁耐震検査について 二川橋、仮橋の安全性は 通学の安全対策について
10	板上東洋士	<ul style="list-style-type: none"> 東大谷地区の集会所の屋根修繕についての要望の件 車検時における住所変更は国の責任で 山椒の付加価値を高める方策で老人の所得向上に向けての対策を
11	浦 博善	<ul style="list-style-type: none"> 公務員倫理を問う
12	堀江眞智子	<ul style="list-style-type: none"> 図書館、図書室について 子どもたちのすこやかな育成のために 精神障害者のデイサービスについて
13	殿井 堯	<ul style="list-style-type: none"> 今後の有田川町の財政状況について 有田川町の環境問題について



町長はもっと金屋庁舎、清水行政局へも 出向いたらどうか

楠 部 重 計

町長が公出しても

質問 合併後、新町のまちづくり構想について、町が大きくなっても役場が遠くなっても、住民サービスの低下は許されない。均衡あるまちづくりを質してきただけである。

地域の実情や住民との対話、職員の意識向上のためにも各庁舎へ出向くよう提言してきたが、実行されたのか。

町長 平成18年度には月2回程度、各庁舎へ出向く予定であったが、約束を果たせなかった。平成19年度についても日程を計画に入れ実行する予定であったが、残念ながら清水庁舎へ2回程度しか出向けなかった。

質問 イベント行事や行政懇談会へ町長は何回か出向いているが、時間の余裕がないなら副町長もいる。そのような日程

計画を組んででも、各庁舎へ行くことが必要でないのか。

町長 これからは、副町長と交互に行けるよう努力する。



清水行政局

金屋地区、公共下水道事業は70%の

質問 平成9年度に重点項目のひとつとして、特定環境保全公共下水道事業計画に着手以来、いまだ進展していない。

計画区域内でのアンケート調査結果は、

また最近では、個人設置型の合併浄化槽が増えている。重点施策の計画見込み、公共下水、水道、合併浄化槽のハード事業計画の見直しが急務でないか。

町長 予定区域内、1、218世帯に配布したアンケート調査結果では、回答者873世帯(72%)の内、加入するのは226世帯であり、回答者の30%にも満たなかった。また現地区内での個人設置型の浄化槽が増え、50%以上になってきている

実情などもふまえ、残念ながら中止するとう結論に達した。

今後は個人浄化槽補助金事業、市町村設置型浄化槽事業などの方向で検討し、加入率の関連もふまえ、希望があれば対処していきたい。

※注釈
公共下水道事業や農業集落排水事業地域外で、原則20戸以上が対象。



平成11年4月完成 吉原浄化センター(農業集落排水)

財政よりも意識改革を



中西正門

立石地区の簡易水道事業を問う

質問 過疎対策事業は今のところ、平成 21 年度で期限切れになる。有利な制度があるうちに工事に着手できないか。平成 20 年度当初予算に計上されたい。

町長 重要事業と考えている。今年の夏も 2 戸が湧水となり、ぶどう園に給水所を設置した。平成 20 年度に測量設計、平成 21 年度には工事着手を考えている。

観光課の設置を求める

質問 藤並駅改修と、特急も停車することになった。

和歌山大学にも観光学部が設立され、観光の気運が盛り上ってきている。有田川町には観光資源が多くあり、またコンサル会社に頼らなくても、

町内には有能な人材が大勢いる。ペーパー行政から、住民参加のフィールド行政の転換を考えることを提言する。

町長 本町の歴史、文化、伝統を引き継ぐことが重要であると考えている。そのために観光に力をいれたい。現在は観光マップの作成に県関係機関の指導を受けながら、藤並駅に特急が止まる平成 20 年 3 月 15 日に合わせ準備をしている。

観光課の設置は本年度大型機構改革を実施したので、平成 20 年度からは、現在の観光係 1 名を 2 名の職員にし、観光部所として資源の発掘に力を注ぎたい。

小学生の体力調査はどうか

質問 小川小学校のプール、運動場拡張工事にあたっては、関係する各位のご努力を感謝してい

る。これを期に体力の向上につながっていると思うが教育長の見解を問う。

教育長 有田川町の体力テストでは、特に小川小学校では目に見えて体力が上がってきている。

意識改革は役場から発信を

質問 職員の不祥事の反省と礼儀作法をわきまえる初歩的なことから、各課で研修会や反省会を行い、最近の役場が変わったと言われる役場にする責務を問う。

町長 初めに職員の不祥事に対し、町民の皆さま方に失墜を与えたことに深くお詫び申し上げたい。現在では、職員の朝礼を行い、各課長から訓示をさせ、意識の改善に努めている。ノーマイカーデーやノー残業デー、平成 20 年 4 月 1 日より職員の駐車料徴収（金額未定）の 3 規定を制定する。



観光資源をいかせるか

産業課長 旧 3 町の主要産業はさまざまであり、1 次、2 次、3 次産業の調和がとれた行政をすすめる。農林業の活性化にむけて一生懸命頑張りたい。



消防任務の現状は?子どもの学力は?

岡 省 吾

町民、町民にたいして
2007年の後の経過は

質問

①消火器一斉点検を、町内全戸で実施できないかと提案したが、その後の取り組みは。

②岩野河区と粟生区、両区の防災無線で双方の火災放送が聞こえないため、聞こえるよう検証することであったが。

町長

①家庭用消火器は、原則自己管理となっており、消防団による町内全戸一斉の点検は難しいと考えるが、町広報紙や消防団による防火啓発等において、点検の周知を図りたい。

②業者を通じ、個別受信機を用いて電波受信できるかどうか確認作業を行った結果、粟生地区においては、全4カ所で金屋の放送電波を受信できたものの、岩野河区では数カ所で清水の電波をキャッチできないところが

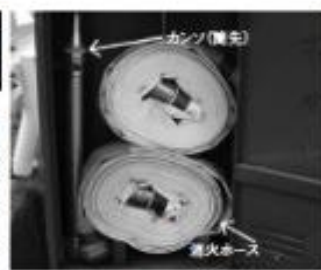
あり、今後業者との協議が必要である。

消火栓付住宅での消火
格納箱設置について

質問

今議会に、消防施設整備補助金194万円が計上されている。これは、粟生地区の消火格納箱19カ所分の設置補助金で、これまでは複数の消火栓に対し、1つの格納箱を共有し火災に対応してきた。

消火栓付近にカンソフ・消火ホースがなければ、火災時において大変な混乱を招くこととなる。他の地域に同様な箇所はないか。



消火格納箱

町長

用地がなく、ど

うしても格納箱を設置できない場合は、ホースを多くして対応しているが極めて少ない。消火栓1基に格納箱1式の設置を基本にはば設置できている。

清水消防署員数の
現状は

質問

現在の清水消防署隊員数で複数の救急・災害依頼に対処できるか。

消防長

平成18年度、救急依頼が重複した事案は6件あり、清水から現場へ救命機材を運び応急処置をするかたわら、本部より救急車が出動し、引き継いで対処している。大地震のような災害時には、常備消防では対応できないのが実情であり、地域防災組織・消防団・行政が一体となって対処しなければならぬ。人員補強はありがたいが、財政上、執行部・財政部門等と今後検討したい。

子どもの教育の現状は

質問

先般、全国学力テストの結果が発表された。当町の結果と、中央教育審議会によるゆとり教育に関する答申についての見解と、今後の方針について問う。

教育長

当町の結果は県下トップクラスであった。中教審の答申を受け、今後は授業時間の確保、道徳教育の充実等の改善は必要と考えるが、具体的な指導や方針については、まだ国・県から下りてきていない。平成20年度に入ってからということである。



清水消防署

公共下水、道路、財政計画はどうか



森 本 明

公共下水計画は

質問 金屋地域公共下水道は、アンケート調査結果に基づきどのように取り組むのか。

町長 30%に満たない加入希望者では進められない。下水道は町づくり、生活環境面の整備に欠かすことのできない事業であり、早急に個人設置型、市町村型（集団加入）の啓発に努め、取り組んでいきたい。

質問 吉備地域の下水道計画は着々と進んでいるが、加入率が心配される。第2区工事地域、第3区工事地域が供用開始まで20年近くを要すると聞く。その頃には合併槽設置等水酸化が進み、人口減と相まって現況は著しく変化していくと思われる。早い時期に各家庭への意識調査等が必要ではないか。

町長 第2区工事地域

については、まもなく国に申請が必要となるので、時間的余裕がないと思う。第3区工事地域の意識調査は今後考えていきたい。

市場バイパスの計画は

質問（仮称）鏡石トンネルが、このたび関係各位、地域の皆さま方のご支援、ご協力により、10年以内に事業化されることになったが、その条件として、市場バイパスの完成が不可欠となっている。早期に供用開始できるように、県に要請してほしい。

町長 トンネルへの付帯条件、市場バイパスは国道424号、480号に交わる最重要路線であり、県にお願いするとともに、町としても地元のご理解をいただけるよう精一杯努力し、県に協力していきたい。

質問 計画から長期間

経過している岩野河バイパスの完成はいつか。

町長 県から平成23年度には供用開始ができるかと返事をいただいている。

平成20年度の財政計画は

質問 平成20年度の当初予算規模は前年度と比較してマイナス予算となるのか。

町長 「三位一体改革」の影響で、町財政も非常に苦しく、実質公債費（借金）比率が18・1%となると起債に制限がかかる。義務的経費（人件費、扶助費、公債費）は42%、經常収支（固定費）比率95・5%となり、財政の硬直化が顕著に表れている。今後は行財政改革方針にそって、交付税等の歳入の確保に努める



工事中の市場バイパス

とともに、予算編成方針として、徹底した歳出見直しを図り、各課への予算枠配分方式により、抑制していきたい。

質問 平成20年度から25年度までの財政計画の指標を示していただきたい。

企画財政課長 今後5カ年の財政計画は平成20年度当初予算編成後に報告したい。



地元資源の活用で活性化を!

佐々木 裕 哲

子ども山漁民交流
プロジェクトへの参加を

質問 農林水産、文部

科学、総務3省は、平成20年度より全国2万3千校の小学生、約120万人を、農山漁村へ1週間程度、民宿や農家に泊め、実際の農作業等を体験させる。農山漁村の学校も農村から山村漁村へ行くなど環境の違う所でいろいろ体験させることにより、学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育て、力強い子どもたちの成長を支えるため取り組む。

今の世の中、個人中心主義の風潮の中、自分さえ、わが子さえ良ければという傾向が強まり、思いやり等が失われ悲しい問題が絶えない。そのような意味から、この事業は意義深いものがある。来年、受け入れモデル地区として全国40地域を



旧北小学校(湊井地区)

設け、その後5年で500地域に拡大する。受け入れ拠点施設として廃校舎や農家を考えており、改修費や宿泊費など、464億円の巨費を計画している。

過疎化が進む地域にとっては朗報である。わが町にも8校の休廃校舎があり、これらも利用できると。この事業は行政だけでなく地域の住民の協力がなければできないが、有田川流域の自然豊かな地域で学習体験をしてもらえば、地域活性化にもなる。早急に取り組んでどうか。

町長 私としても是非やりたいと思っているが、行政だけでなく、まず地域の住民に取り組んでいただかなければできない。過疎になった地域と連携して、受け入れられる地域探しをやっていきたい。

保田紙による卒業証書の
利用促進の検討が

質問 9月議会でも質

問し、町長および教育長から前向きに考えたとの答弁をいただき、関係者は心待ちにしている。その後、話は進んでいるのか。

先日12月7日、NHK総合テレビでも紙漉きの様子を生中継し、注目されている。ただ和紙に終わらせるのか、付加価値をつけて今後楽しみな商品にするかの分岐点だ。何事も地元で利用しなければ外へ販売できない。伝統工芸品であるがゆえ

各校長にお願いすれば必ず利用してくれると思うがどうか。

町長 前回ご指摘して

いただき、各校へ紹介してまず、金屋地区の3校で利用してもらえることになった。今後残りの学校へ利用をすすめたい。

教育長 教育委員会と

しても利用促進は当然と思っている。町内の校長会にも詳しく説明している。また、来年の古備、金屋地区の3、4年生の副読本で保田紙を説明していくし、学習を通じて紹介していく。



高齢者生活活動センター(湊水地区)

山間過疎地対策は大きな課題



前 勢 利 夫

限界集落の実態と
その対策は

質問 限界集落とは一般的に65才以上が50%を超え、冠婚葬祭などの行事が困難化し、共同体の維持が限界に近づいている現象とされている。全国7878集落（平成18年4月現在）と公表されているが、有田川町の実態とその対策はどうか。

町長 吉備地区29集落中2。金屋地区38集落中6。清水地区26集落中15。合計23集落が該当し憂慮される事態だ。再生を目指す全国38都道府県の146自治体が「全国水源の里連絡協議会」を立ち上げ、すでに和歌山県においては高野町、白浜町が参加している。わが町も加入の方向で検討中である。

平成19年11月30日、「地方格差問題解決」に与党とともに全力を集中して

いる政府が「地方再生戦略」に基づく地方都市、農山漁村、限界集落等、基礎的条件が厳しい問題に的をしほり支援することの決定を受け、議員提言の耕作放棄地の再生や、集団営農対策。

また特産品（山椒等）に付加価値を付けるための取り組みやインターネット利用による販売力の強化。

里山整備を含む間伐材事業の促進と、森林整備に建設業会の積極的参入を求める話し合い。

安心安全の食料品作り。

地域の自然と伝統を生かした観光対策や、若手担い手人材の確保・育成の具体的な取り組みを進めたい。

質問 過疎対策法は45年制定以来、現在の過疎地域自立促進特別措置法の期限（平成21年）も迫っており、現在もその地域

指定を受けている清水、金屋地区において476件274億3400万円にのぼる各種公共事業が遂行されてきた実績を更に積み上げるべく「新立法」要求実現に向け全力で取り組む。

中国江西省と友好を

質問 中国江西省との友好関係の緊密化を問う。

町長 中国江西省との友好緊密化については、旧清水町時代（平成17年2月）江西省贛州市、贛州市と木材等の通商を掲げて交流が開始され、これを受け平成18年度新町として贛州市と友好協定を結んだ。平成19年10月、南昌市を含む江西省傘下の3市に赴き、更に友好を深めてきた。今や中国を抜きにしては世界を語れない発展ぶりを鑑み、ゆるぎない体制づくりのため、平成20年度は

先方関係者をお招きしたので町民、議会あげてご賛同いただき親善を一層強固なものにしたいのでご協力を申し上げます。

山間地の学校教育は

質問 清水行政局管内における中学校校舎改修と過疎地教育の今後の取り組みはどうか。

教育長 八幡中学校、白馬中学校は、耐震対策上改修を進めなければならない。八幡中学校、白馬中学校と順次進めていく。過疎山間地教育のあり方は、生徒数の動向を見ながら「学校教育ニュービジョン計画」を立案中であり、これに従って対応していく。

小中一貫教育は、県下の先進的に取り組んでいる学校の実践をよく見極めながら対応を考えていきたい。



過疎地域の活性化を求める

竹 本 和 泰

急速な高齢化、地域活力の衰へへの認識は

質問 地方においては、

集落の存続は危ぶまれるという限界集落が叫ばれている。有田川町の山間地集落も極めて厳しい状況にある。ひとり暮らしや高齢者だけの世帯も増え、日常生活に不安を抱いている人も多い。町長の認識は。

町長 非常に憂慮すべきことである。過疎地の活性化は行政だけでなく

地元の方々と話し合い、より良い方法を見つけていきたい。

高齢者等地域住民の生活不安解消は

質問 高齢化した集落

での救急時や日常生活の援助、安否の確認等への対応として、地域で支えあう体制ネットワークづくりが必要と思う。また山間地域では、車

の乗り入れが不可能な高齢者の家も多く、日常生活での支障、デイサービス等在宅介護が受けられない。せめて車イスが通れるような路面補修が考えられないか。

高齢化率(H19.4.1現在、65歳以上の人の割合)

旧町地域	大字集落数	人口	高齢化率	高齢化率50%以上の集落数
吉 備	29	15,196	20.7	2
金 屋	38	9,190	32.2	6
清 水	26	4,641	45.4	15
計	93	29,026人	28.3%	23

町長 生活支援、安否

の確認等にあんしん電話の設置とヘルパー事業の実施。ネットワークについては、民生委員さんや見守り協力員さんの協力を得て、ひとり暮らし世

帯などへの訪問をしている。

介護保険事業の中で、

高齢者宅まで車が行けない所への対応として、住居までの手すり設置や車イスが通れるように、既存の道の補修として、20万円を限度に補助することになっている。

地域活性化への対策は

質問 山間地域の過疎

化は著しく、金屋・清水地域では小学校の廃校舎が増え、地域の衰退が余儀なくなってきた。この廃校舎を地域活性化へ活かす方法、地域づくりの拠点施設としての活用、町当局はどのような検討をしているのか。

また、過疎化する地域で活性化に取り組む地域グループ等が行う事業への支援策は。

町長 廃校舎の活用については、具体的に検討



旧郷口小学校(菅野河地区)

していないが都会の方々にも利用していただけるよう研究をし、地元の方と相談していく。

地域グループへの支援については、地域活性化には地域住民が中心になることが多く、地域の活性化につながるような催し等に取り組んでいるグループには、財政措置を考えた。

アナログ放送打ち切り(2011年)の延期を求める



増 谷 憲

地上デジタル放送の問題点は

質問 ケーブルテレビを導入すると今の共聴テレビの年間視聴料と比べても2倍から33倍の間で負担が増え、テレビの購入にも出費がかさむ。今清水地域で説明会を開いているが質問も出にくい。

町長 共同受信施設の改良・改修、また光ケーブルを利用したプロードバンドでの基盤整備を考えるが、個人負担も出てくるので相談しながら進める。光ケーブルは約2年かかり、県の補助金を使う場合は1年以内に完了しなければならず矛盾している。このことも含めて国の方へ延期の要望は必ずしていく。

説明会ではできるだけ詳しく説明できるように指示したい。

質問 ①早くから忠告する声に耳を傾けていれば残念な結果にならなかつた。厳罰化しても解決にならない。職員の悩みや相談にのり、住民サービスの向上につながる環境づくりが大事だ。町長や各課長はその先頭に立ってほしい。

福祉課で起った問題の総括と教訓は

町長 ①町民の信頼を損ない、改めてお詫び申し上げたい。倫理規定をつくり、公金の内部監査システムの確立で会計事務の適正化等に取り組み、職員の悩みや職員の行動の周知徹底をしたい。

質問 ①来年度の一般会計予算、国保、老人保健、介護保険特別会計予算の歳入歳出の見通しはどうか。

町長 ①一般会計予算はまだだが、国保は保険税が上がると思う。老人・介護保険は今年度より

来年度の予算編成はどうか

町長 ①継続事業中心の予算編成になる。

質問 ①立石、黒松、生石地区は早急に水道施設を希望している。まず立石地区から来年度に設計と工事の予算化を。

町長 ①平成20年度設計し、21年度工事着手予定で進める。

質問 ②飲料水供給施設の維持管理は、地域の高齢化と人口減等で今から維持管理体制の検討を。

町長 ①平成20年度設計し、21年度工事着手予定で進める。

質問 ②行政が何らかの措置をとらなければならぬ。

山間部の水道事業の整備を

り予算が増えると思う。

町長 ①立石、黒松、生石地区は早急に水道施設を希望している。まず立石地区から来年度に設計と工事の予算化を。

町長 ①平成20年度設計し、21年度工事着手予定で進める。

質問 ②飲料水供給施設の維持管理は、地域の高齢化と人口減等で今から維持管理体制の検討を。

町長 ①平成20年度設計し、21年度工事着手予定で進める。

質問 ②行政が何らかの措置をとらなければならぬ。



立石地内



交通上の安全対策が急がれる

尾上武男

橋の耐震化はどうか

質問 国や県は橋の耐震検査が終わっていると聞いているが、町はどうなっているのか。

町村の中で県下一広い面積をもつわが町は有田川を挟んで多くの集落がある。もしこの集落を結ぶ橋が崩壊すれば、集落は陸の孤島となってしまうおそれがある。重要な橋は重点的に対応すべきでないか。

町長 橋の耐震検査だが、3カ年計画で行っており、424号及び480号線での15m以上の橋は平成19年度でおおむね完了する見込みである。町の橋は、耐震検査を行っていないが、今後老朽化した橋が増えてくるので、長寿命化修繕計画策定事業補助制度の要綱ができるので、それに合わせて検討していく。

仮橋は太くて良いか

質問 県道境川金屋線

二川橋を改修するために歩行者用の仮橋を架けているが、この仮橋は水面より2mほどの所に設置をしている。地元住民は大雨で増水すれば仮橋が流れないかという不安をもっている。また迂回する町道は、幅がせまく対向できない。工事が終わるまで何らかの対策を取るよう県に対し要望していただきたい。



二川橋下に仮設された仮橋

町長 二川区民にとって懸案の対向できる橋の改修である。仮橋は私も低いと感じているが、県と地元で協議して決めたと聞いている。

迂回路の町道も狭いで工期に必ず終わるようになっている。

町道天満線の交通安全対策の進み具合は

質問 町道天満線 天満川より焼肉牛太の間は

県道バイパス工事及び高速度道路関連工事が進んでいる。特に竹中農機具店前より焼肉店の間は朝の通勤時間帯で車の交通量が多く、工事が進むにつれて工事用の大型車も多くなると思う。子どもたちが通学する上で危険極まりない状態だ。また来年3月には藤並駅が改修され、東側からの乗降客が多くなり、より車の通行量が増えると思う。教育委員会としてこの間の

通学路の変更など考えているのか。



町道天満線を通学する子どもたち

町長 天満川から焼肉牛太の間は、工用車両が多くなると思う。関係機関と協議しながら安全対策に万全を期して通行量をみながら対応していく。

教育長 子どもの安全対策は常に模索している。ご指摘のところは交通量が一番多いところだと思ふ。危険が高まると思ふので建設課や関係機関と連携しながら最適な方法を考えたい。

急がれる集会所建設等の 補助金制度の統一



坂 上 東 洋 士

集会所の屋根修繕 は早急な対応を

質問 東大谷地区にある集会所の屋根が老朽化のため雨漏りが甚だしいので、現在シートをかぶせて一時しのぎをしている。建物のことなので早急な対応を求める。



修繕が急がれる屋根(東大谷生活改善センター)

3 町合併までの各町では、これらの制度に対する補助の仕方に差異があったので、それを調整するために時間がかかっている。その負担割合については、東大谷地区のように人口が少なく戸数も少ないところへは、地域の事情を考慮した検討

を求める。

町長 合併以前の各町における補助金の制度、補助額が別々であったため、現在どのようなようにしたいのか専門的なチームを作って調整中である。ただ一律にして良いというのではなく、人口密度であるとか経済的な負担能力や高齢化率等を勘案して対応していきたいと考えている。屋根の雨漏りということであり、放っておくと後でお金のかかることにもなるので、この件については特例的に、平成 20 年度当初予算で修繕がおこなえるよう措置を講じたい。



東大谷生活改善センター全景

車検時の住所変更を

質問 車検時における住所変更は、国の責任で行うよう求める。昨年 4 月と 9 月に私の自家用車 2 台を車検に出した。整備工場から戻ってきた時点で、車検証を見ると、住所が合併して有田川町であるのに清水町のままになっていった。住所変更をする場合には本人からの申請に基づき訂正されるのだが、その際には手数料が必要となり、このコンピュータ時代にあって理不尽なことだと思った。国に対し善処されるよう取り計らっていただきたい。

町長 私もこの件についてはこれまで知らなかったことであり、言わ

れてみれば大変おかしなことだと思う。どこが対応してくれるのか調査をして、二階代議員をはじめ県選出の国会議員の先生にもお話をし、改善されるよう国に要望したい。



車検証

その他、山椒の付加価値を高める方策で、老人の所得向上に向けての対策についても質問しました。



直ちに行政改革に取り組まなければ 町財政はまもなく破綻します

浦 博 善

行政改革は本当に
進んでいるのか

質問 昨今の防衛省関

連の汚職事件等により、公務員の倫理について世論は日増しに厳しくなっている。当町においても反省すべき事件が発生した。「公務員の不祥事」として全国版のニュースでも報道されている。この事件の重大さ、住民の皆さまに与える影響は、私が想像していた以上に厳しいものである。このような事件を二度と起こさないためには、この事件を決して風化させることなく、職員一人ひとりの脳裏に深く刻み込んでもらう必要がある。

当町は平成19年3月に第一次有田川町行政改革大綱を定め、緊急な行政改革の一つとして「職員の意識改革の推進」を示している。そして4月には「有田川町人材育成基

本方針」を定め、今日まで倫理性の保持をはじめとする職員の意識改革に努力してきたはずだ。しかしこのような取り組みの最中になぜ、事件が起こってしまったのか、意識改革は本当に進められていたのか。また刑事告発はどうするのか。

町長 今回の事件により住民の皆さまには、職員に対しまして行政に対する信頼を大きく損なうこととなった。監督責任者である私の責任であり、深くお詫びし反省をしている。職員の意識改革を進めている最中に、このような事件が起こってしまったことは非常に残念である。二度とこのようなことがないように、現在の業務を調査し情報を収集している。業務の仕組みを改めるとともに、職員の意識改革に取り組んでいく。

刑事告発については、民生委員会のお金であり、今後の対応については、民生委員会の方々と相談しながら進めていく。

再質問 有田川町の行政改革大綱には「行政と住民が一体となって直ちに行政改革に取り組む必要がある。万が一、先延ばしをするようなことがあれば、町財政はまもなく破綻し、住民生活に大きな影響を及ぼすことにな

なる。」と記載されている。しかし改革は本当に進んでいるのか。直ちに緊急の課題である行政改革を、より厳しい姿勢で取り組んでもらいたい。

町長 より一層厳しい姿勢で、私も含め職員を指導していく。行政改革、意識改革は緊急の課題であり、今後は気持ちを引き締めて取り組んでいく。



有田川町の行政改革大綱と人材育成基本方針
(町のホームページから入手できます)

マンガ本図書室なんて なんか変じゃない？



堀江 眞 智 子

**今後の図書館・図書室の
充実をどう考えるのか**

質問 合併以前から金

屋図書館の充実が、吉備地区住民にとってうらやましくそのお手本として、きび会館図書室の充実をずっと願ってきた。若いお母さんたちが子ども連れで本を借りに来るとき、公園で子どもの遊ぶ姿を確かめながら、本を選ぶようにと現在の1階への移動は、これまで待ち望んだ充実への第一歩。そんな時、きび会館図書室がマンガ本専門の図書室になる計画であると聞いたが、各図書館・図書室の今後の運営方針はどうなのか？

教育長 まちづくり交

付金事業の一環として、町民の交流センター（仮称）に本のある憩いの場として図書館の類似施設を併設したいと考えている。本と情報と交流を組み合わ

せ、情報発信の拠点、また町民の憩いの場とした。住民サービスの配慮から清水図書館は従来通りとし、金屋図書館、きび

会館図書室は、距離が近く互いに児童・幼児の利用が共通しており、経費が重複するなど効果的・効率的に問題がある。新設の類似施設が運用開始されると、新しい施設に人の流れも変わり、金屋と吉備が共倒れになる危険性がある。図書施設を有効的に利用するには、独自性と専門性を持った図書施設を再構築する必要がある。交流センターには、

大人向け図書を専門的に揃え、大人を中心とし中学生以上向けの一般書・月刊誌・週刊誌・情報誌を充実させ、パソコン通信もできる施設にしたいと考えている。金屋図書館は児童・幼児を対象とした図書館に、きび会館図書室は、交流センターに近く金

屋図書館の専門性の充実により、きびしい影響が及んでくると予想される。利用者も減っているのでは、このままでは歯止めが効かないと考える。そのため新たな文化としてマンガにスポットをあてたらどうかと考える。集客力住民サービスの主役として他町に先駆けて推進しようと考えてる。



きび会館(1階に図書室があります)

再質問 ユネスコの「公

共図書館宣言」によれば、公共の図書館は利用者が年齢・性別・国籍・身分などの社会的条件を問わず等しくサービスを行い、地域において、人々が知識・情報を得るためのセンターであるとなつている。地元での町長の約束も考慮し、地元のみならずの声・利用者の声・きび図書室に関わってくださっている方々の声を聞くことを求める。

町長 地元・教育委員会とも協議し、よりよい方向で進めていきたい。

その他、子どもたちのすこやかな育成についての4点と精神障害者のアイサービスについても質問しました。



先を見通しての財政運営を

殿 井 堯

今後の有田川町の 財政状況は

質問 大変厳しい財政状況にさらされながら進めている。本当の財政難は、あと3、4年してから起こる。交付金を使い事業をしていくが、その後の返済は大変厳しくなる。議会、執行部一丸となって進めていかなければならないが、町長の決意を聞く。

町長 ご指摘のとおり、大変厳しい財政難であり行政改革も含め、真剣に取り組んでいかなければならない。公債費比率も18・1%になっていく。あと2、3年は公債費比率が上がるので、財政が圧迫される。交付税や国の補助金等、今後どうなっていくのか推移をみながら、また財政当局としっかり協議をし、取り組んでいきたい。

ソメイヨシノの 延命策は

質問 清水地区のシンボルである二川ダム湖畔のソメイヨシノの桜は、昭和42年頃から植栽した。有田川町の観光資源として、産業建設常任委員会で見学に行ったが、天狗巣病があちこちに発生し、苔や蔓が巻き付いている。桜の木の寿命は、40年と聞くが、天狗巣病の問題についてどう対応するのか。財政的に厳しい中であるが、具体的な対策を聞く。

町長 春になると多くの観光客が訪れる。国道480号線に480本、対岸に168本の桜の木がある。天狗巣病とは、枝が縮状態になって、花が咲かない状態になること。4年前にも、1回手入れをしたが、1本1本の手入れに費用と労力がかかる。今後、地元出



天狗巣病被害の桜(二川ダム湖畔)

身の樹木医に相談しながら、財政的に厳しい中、少しずつ減らしていくなど、いろいろな方法で保存できるようにしていく。また、植栽については、宝くじの桜若木植栽事業等で調達できる。今後は苗木の植栽をしていきたい。

産業課長 4年前に、地元出身の樹木医に診てもらって、県緊急雇用創出特別基金事業により、桜天狗巣病の枝の切除作業を456万円かけて実施した。しかしながら、この病気はウイルス性で、転移するということが増えている。関係機関に補助金がないか問い合わせしているが、今のところない。財政的に厳しい中、1年ではなしに、数年かけて実施できないか、財政当局と協議しながら進めたい。

あたり前だと思っていることが、 多くの人の支えでなりたっている



安藤中学校3年生の曾さん

中学生の議会傍聴記

めったにない体験

3年 今西 淳子

私は議会傍聴をして、有田川町がよりよい町になるために、どうすればよいかを考えてくださっていることを改めて知りました。

私が普段生活している中で、不便なことは何一つありません。歩道や車道をきちんと整備して下さっているおかげで、毎日、安全に学校に通うことができています。

一番印象に残った話の内容は、観光課の新設についてです。観光課は新設されていないけど有田川町の多くの観光資源を活用し、活性化させていこうという話が心に残り、住民の協力が必要であることが大切だと知りました。

議会傍聴をすることで、普段気にすること

ない公共事業について考えるようになりました。減多に体験できることのないことだったので、勉強になりました。

地域のことを 考えて質問を

3年 上西 智大

僕は、初めて議会議場を見せられて、そのようすや、議会がどのように運営されているのかということを知ることができました。

また、傍聴席が議員の方々が座られているすぐ後ろだったので、議会が行われているときの雰囲気がよく分かりました。僕が思っていたより和やかな雰囲気で行われているのだと感じました。

僕は、議員の方々の一般質問や、それに答弁をする町長さんや教育長さんなどの答弁から、町政にかかわっている全ての

もう一度傍聴したい

3年 杉本 哲也

僕は、この議会傍聴は初めての体験で、少し緊張しながら議会に向かいました。

ですが、議会に向かう途中で、議員さんに話しかけてもらったり、町長さんに会わせてもらったりして、少し緊張も和らぎました。

議会が始まると、一般質問とそれに対する答弁が始まりました。内容はなかなか難しかったです。教育のこと、自分達の生活についてのこと、また、災害への対策についてのことなど、町民の人達の為に色々と考えて

くれている嬉しかったです。
また時間のある時があれば、もう一度傍聴に行つて、しっかりと内容を聞いてみたいと思います。

さすが住民の代表

3年 谷口 貴子

今日、公民の授業で、初めて議会傍聴に行つてきました。

議会の内容は、主に、公共設備や学校、福祉関係のことなどでした。それらのことを、質問する議員さんも、事実に基づき堂々と自分の考えを発言していました。そんな姿に、さすがは住民の代表として、選ばれた人達だなと思いました。

私は、今日の体験を通して大切なことを実感しました。それは、自分達の身の回りがある、普段

深く考えないことや、当たり前だと思つていることが、実は多くの人の支えによって成り立っているということなんです。地域の発展や住みやすい環境のためには、様々な知恵が必要で、それがうまく組み合わさつて、初めて私達の暮らしに欠かせないものなんだと思ひました。

議会の大切さを 感じた

3年 中野 友貴

僕は、今回が初めての町議会傍聴でした。これまでは、議会というものを遠くの存在のように感じていましたが、傍聴させていだいたことで、身近なものなんだなと思ひました。

議員さんの一般質問では少し、難しい所もありましたが、この有田川町を大事に思つてくれてい

るということを感じるこ
とができました。
また、この議会が有田川町の未来を左右するのだと思うと、改めて、議会の大切さというのを感じました。

これから、今回のように議会を傍聴する機会があれば、参加できたらいいなと思ひます。

がんばれ新成人

平成20年1月13日、金屋文化保健センターにおいて、平成20年成人式が挙行されました。

今年は332名の皆さんが成人を迎え、大人として第一歩を踏み出します。

皆さんのより一層のご活躍をお祈りします。



平成20年成人式

社会福祉協議会に寄付



どんどんまつりでフランクフルトを販売

平成19年10月21日の「どんどんまつり」では議会もフランクフルトを販売し、その売り上げを12月4日、社会福祉協議会に寄付しました。社協の愛のバザーにも住民福祉委員会が参加しました。

AEDの講習を受ける



人形を使っての救命訓練

議会最終日、吉備・金屋消防本部より救命救急士の方々にお越しいただき、全議員参加してAEDを使っての人命救助訓練を受けました。



しみず温泉こども絵画展



作品名「思い出のキャンプ」
上北 理乃さん(藤並小学校5年生)の作品

求む!



広報委員会では、議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真・イラスト等を、町民みなさんから募らせていただいております。

有田川町の名所や風景などお気軽にご応募下さい。尚勝

手ながらお寄せいただいた作品は返却できませんのでご理解下さい。みなさんからの意見、ご感想等もお待ちしています。

くわら版編集委員会

議会広報編集特別委員会 構成メンバー

- | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|
| ○岡 | ○増 | ○東 | ○西 | ○森 | ○大 |
| 省 | 谷 | 江 | 谷 | 信 | 長 |
| 野 | 真 | 武 | 弘 | 信 | 長 |
| 鹿 | 智 | 史 | 義 | 哉 | 長 |
| | 子 | | 善 | | 長 |

編集後記

昨年の世相を一字で表すと「偽」であった。広辞苑で「偽」とはいつわり、自然でないこととなっている。いま年金問題、薬害肝炎問題、食品の偽装表示、耐震偽装など、挙げればきりが無い。こういうことが「偽」と表現されたのだろう。では「偽」を生み出す原因はなにか。まさに政治のチェックが働かないからではないか。

有田川町もいろいろな課題、問題が山積している。議会でのチェック機能を高めないと町民から信頼されなくなる。議会が「偽」にならないためにも議会の活性化と自己研鑽に努めよう。

(増谷 憲)

お問い合わせ
☎521-2111
吉備庁舎4階
議会事務局まで